

ぐらい続ける必要があるのか。

A：下水道事業は平成22年度で完了予定です。主伐については今後2～3年ほど続けることになると思います。その後は間伐に切り替えて、主伐できるような山を育てていく計画となっています。

Q：猿ヶ瀬の向い側の南鹿瀬内地内の林が大分混んできている。そろそろ間伐しないと雪・風の影響でダメになると思う。多少お金がかかっても、将来主伐する際に良い木として成長しないのではないか。

A：ご指摘のとおりです。最近では、間伐の効果が非常に高いことも注目されています。地球温暖化の面でも、間伐をした林は間伐しなかった林よりも、CO<sub>2</sub>削減効果が高いことも証明されており、他の樹木の生育を妨げないところから、お金にならないとしても、十分に進めていかなければならないものだと認識しています。現場を確認し検討します。

Q：町長は新路線を開拓するよりも、大沢農面道路を拡幅して、一ツ井に繋げる方が効率良いとお考えのようですが、その考えは変わりないのか。

A：変わりありません。

Q：林道米代線の開通には、膨大な費用が授じられていると思う。利用率や、冬期間の利用を考えると実用的とは思えない。町民が望んでいる生活路線を実現せずに、林道開通を優先させることはいかがなものか。

A：林道米代線は、林業振興を第一に考

えて作った道路です。林道米代線が通る八峰町・能代市・藤里町には広大な森林資源があり、計画的に手入れができるよう主要林道として事業着手しました。ただ林業振興だけでなく、生活道路や災害時の迂回路、観光ルートとしての基本路線など、様々な利用価値が出てくるだろうと考えています。利用効果については毎年検査されていますが、指摘を受けたことはありません。冬期間の通行については、1市2町で協議して決めることがあります。

Q：給食センター付近の河川敷が荒れてきているので、きれいにしてほしい。

A：現在、県で川の州ざらいをしているので、追加要望します。

● 1月27日(火)  
矢坂地区……15名



婦人・若者等活動促進施設

Q：地域活動支援事業について質問だが、代表者は活動推進協議会の代表に限定されるのか。矢坂地区は矢坂上野や、矢坂上町などに分かれているが、例えば矢坂

上野だけで活動することに対して、支援を受けることは出来ないのか。

A：地域の代表者については、誰がなっても構いません。ただし、代表者はあくまでも一人に限定します。理由は、代表者が地区の総意を受けて申請する形にしているためです。矢坂地区から上野地区、上町地区等それから複数の活動が出たとしても、矢坂地区で話し合って総意を得られたのであれば支援対象となります。

Q：公園整備の助成として5万円の補助がありますが、助成額の引き上げはできないものか。地区の方々で年3～4回ほど手入れしているが、金額的に足りない状況です。

A：モデル事業で農村公園を各地区に整備し、当初は地区の老人クラブに手入れのお願いをしていました。それからしばらくして、いろいろな事情があり維持管理するための最低限の助成は必要だらうとのことで5万円の補助ができました。金額については今後検討します。

Q：以前から要望していることだが、上野蟹子沢山菜加工所脇にある道路の側溝にふたをしてほしい。道幅も狭く、車の交差もやつとの場所なのに、ふたをしている所としていない所がある。また、夜は街灯がなく暗い場所のため、脱輪する車が多い。今年はけが人も出ていますので、早急に対応してほしい。

A：1回で全てにふたをつけることはできないと思いますが、少しずつ進めてい

けるよう努めたいと思います。

Q：財政調整基金はいくらわかるのか。

A：3億円ほどあります。

Q：婦人若者等活動促進施設（矢坂の集会所）のストップの給排気管が屋根から落雪で隠れてしまうので、何らかの対策をしてほしい。

A：現場を確認して対策します。

Q：大沢橋は一車線で交差するのも大変である。改良の予定はあるのか。

A：矢坂糖沢線の開通後に改良・更新してはと言われておりますが、要望活動はしていきます。

Q：大沢頭首工の下流（矢坂の川とぶつかる所）にテトラポットがあるが、流れてしまって保護の役割をしていない。危険なので対策をしてもらえないか。また、大沢橋の真下の沈床についても改善するよう要望してもらいたい。

A：役場からも土地改良区に矢坂地区の要望として相談してみたいと思います。沈床については県に検討してもらいます。

Q：矢坂地区の下水道工事をした際に、町の助成金に遅れが出て、町民も業者も困ったことがあった。助成金の遅れの原因は。

A：下水道加入工事が、一時的に集中してしまったため、事務処理が追いつかず遅れてしまいました。今後はこのようなことがないように努めています。